

令和元年東日本台風

---

# 本宮市 災害 記録誌

令和4年1月



福島県本宮市

# 発刊にあたって

令和元年10月12日、台風第19号の接近により昼過ぎから降っていた激しい雨は夕方から翌13日未明にかけて非常に激しくなり、市内では、阿武隈川の越水や安達太良川堤防の決壊が発生しました。これにより、7名の尊い命が失われ、市の中心市街地が広範囲にわたり浸水、1,400棟を超える家屋等が浸水し、各地区で土砂災害なども発生しました。この台風はのちに令和元年東日本台風と命名されました。

改めましてお亡くなりになられた方々に対し哀悼の意を捧げるとともに、ご家族・ご親族の皆様にご挨拶とお悔やみを申し上げます。また、被災されたすべての皆様に心からお見舞い申し上げます。



災害発生直後から市消防団や自衛隊、警察、広域消防をはじめとする関係機関の方々、国土交通省や福島県をはじめ、他県及び県内外の市町村から職員の派遣をいただき、災害対応のご支援をいただきました。

さらには、全国各地から義援金や救援物資などの心温まるご支援、本宮高校の皆さんや県内外から延べ4,400人を超えるボランティアの方々による力強いご支援をいただきました。改めまして、心から厚く御礼を申し上げます。

さて、災害から2年が経過しました。今もなお、借上げ住宅などでの暮らしを余儀なくされている方、以前のよう暮らしを取り戻すことができない方もおいでになり、苦難は計り知れませんが、それぞれ皆様自らが生活再建に取り組んでおられます。市は、これからも全力で最後のおひとりまで寄り添い、ご支援させていただくことを約束申し上げます。

この間、国・県による河川の整備をはじめ、市としては被災した公共施設の復旧や防災備蓄倉庫などの防災関連施設の整備、集中豪雨時に迅速な対策ができるよう排水ポンプ車を配備するなど、被害の軽減対策に努めてまいりました。

また、東日本台風の経験と反省を踏まえて、災害の発生前から行政や市民の皆様が迅速で的確な対応をとるためのタイムライン 防災行動計画も策定しました。二度と犠牲者を出さないために、市民の皆様と行政が危機感を共有し、災害時に命を守る行動ができるよう普段からの備えが重要です。自然災害への心構えは常に持ち続けなければなりません。

そこで、甚大な被害を及ぼした「東日本台風災害」の記憶を風化させることなく、その経過と被災状況、当時の対応と災害からの復旧・復興の状況をまとめた「令和元年東日本台風 本宮市災害記録誌」を作成いたしました。台風災害の教訓として、今後の災害対応に役立てていただければ幸いです。

近年、世界中で異常気象を起因とする災害が数多く発生し、深刻さが増しています。東日本台風災害による大きな被災を経験した自治体として、2050年までにCO2排出量実質ゼロにすることを目標に、昨年3月に「本宮市2050ゼロカーボンシティ」を宣言しました。市は、率先して地球温暖化対策に取り組み脱炭素社会の実現に努めるとともに、「笑顔あふれる人と地域が輝くまち もとみや」を目指し、引き続き防災・減災対策を講じてまいります。

令和4年1月

福島県本宮市長 高松義行

## 第1章 被害の発生

被害発生の記録写真	2
気象状況	8
観測状況	9
被害状況	11

## 第2章 救助・復旧

救助・復旧の記録写真	18
初動対応	24
避難状況	27
他自治体からの職員応援	31
医療・救護・感染予防対策	32
生活支援	33
災害廃棄物・公費解体	35
市税・保険料・手数料等の減免	36
住居等の支援	38
全国からの支援	39
国・県への要望	40

## 第3章 復興。その先へ

天皇、皇后両陛下ご訪問	44
追悼復興祈念事業	46
台風災害の検証	47
阿武隈川の治水対策	48
安達太良川の治水対策	49
内水対策	50
災害に備える	52
ゼロカーボンシティ宣言	57
水に親しむ	58



# 第1章 被害



安達橋

阿武隈川

越水箇所

JR本宮駅

# の発生



安達太良川堤防の決壊により被害を受けた館町地区と阿武隈川の氾濫により被害を受けた千代田、鍛冶免、南町裡地区（令和元年10月13日7時49分）



阿武隈川の氾濫現場（令和元年10月13日6時47分、太郎丸地内）



安達太良川堤防の決壊現場（令和元年10月14日16時16分、南河原田地内）



濁流が東北本線線路近くまで迫る安達太良川  
(令和元年10月13日5時47分、南河原田地内)



大型遊具の上部以外水没したみずいる公園  
(令和元年10月13日5時55分)



水に浸かった目抜き通り (令和元年10月13日6時02分、下町地内)



阿武隈川からの水が流れ込む JR 本宮駅前 (令和元年10月13日6時56分)



大量の土砂や漂着ごみであふれる中央公民館（令和元年10月14日8時50分）



浸水によりコンクリート塀に乗り上げた車  
（令和元年10月14日12時15分、馬場地内）



水が引き、本棚や建具が散乱する本宮第1保育所  
（令和元年10月14日8時42分）



土砂の堆積したまゆみ通り  
（令和元年10月14日15時05分、南町裡地内）



阿武隈川流域で浸水被害の合った仁井田地区  
（令和元年10月13日8時20分）

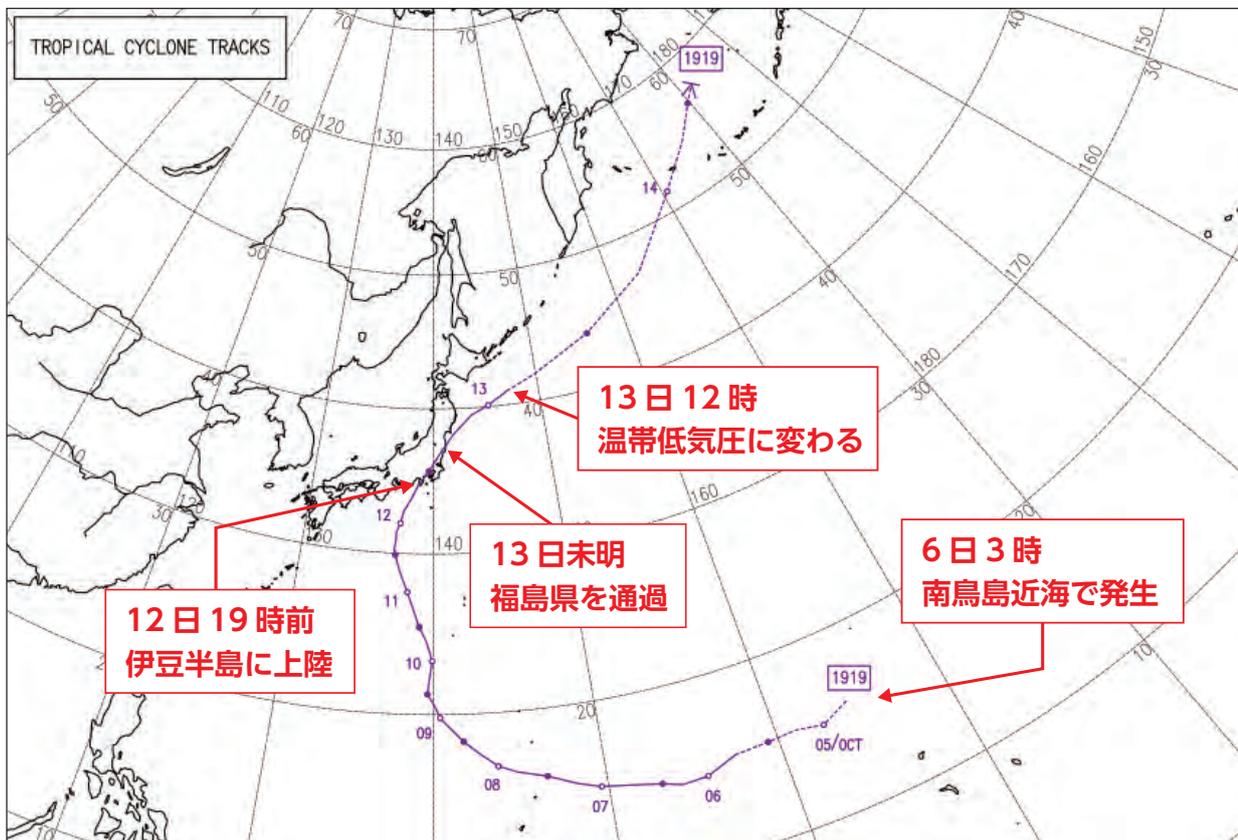
# 気象状況

## 発生～通過まで

令和元年東日本台風（台風第19号）は、令和元年10月6日3時に南鳥島近海で発生し、西へ進みながら急速に発達。7日18時には猛烈な勢力となった。その後も猛烈な勢力を維持したまま北西へ進み、10日21時には父島の西南西で非常に強い勢力に変わり北上し、12日19時前に大型で強い勢力で伊豆半島に上陸。

台風はその後も勢力を維持したまま北東へ進み、関東地方から福島県を通過して13日明け方には宮城県沖に抜け、その後北海道の南東海上で温帯低気圧となった。

## 台風第19号の経路図（出典：気象庁）



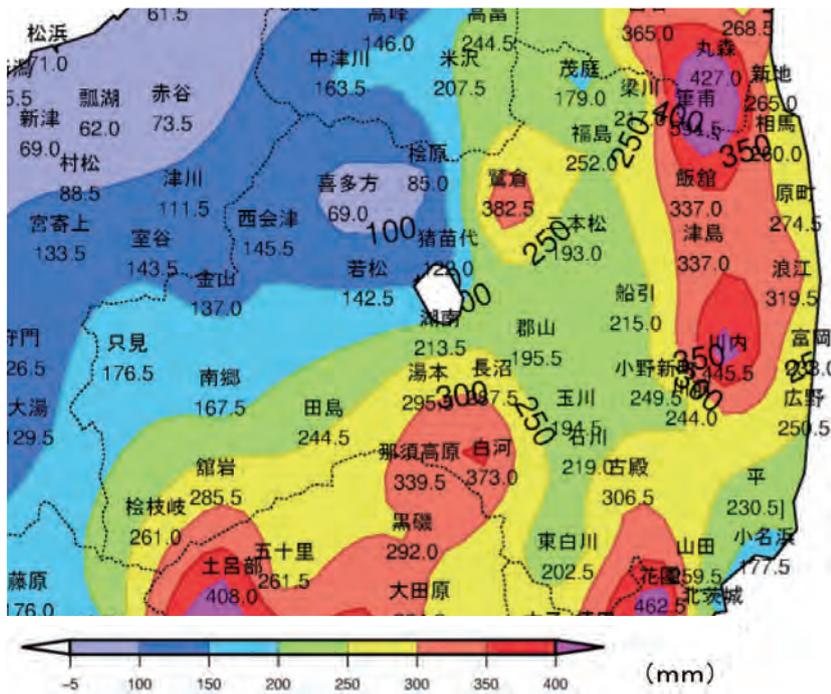
## 市内の気象状況

福島県内では、11日から前線の影響で雨が降り出し、12日には台風の接近により昼過ぎから激しい雨が降り、特に台風の接近・通過に伴い、12日夕方から13日未明にかけては非常に激しい雨となり、局地的には猛烈な雨となった。11日15時から13日6時までの総雨量は、広い範囲で200mm以上の大雨となった。

市内では、阿武隈川の越水や安達太良川の堤防の決壊等が発生し、7人の尊い命が失われるとともに、1,400棟を超える家屋等が浸水し、多くの市民の生活や市内の経済等に大きな影響を及ぼした未曾有の災害となった。

# 観測状況

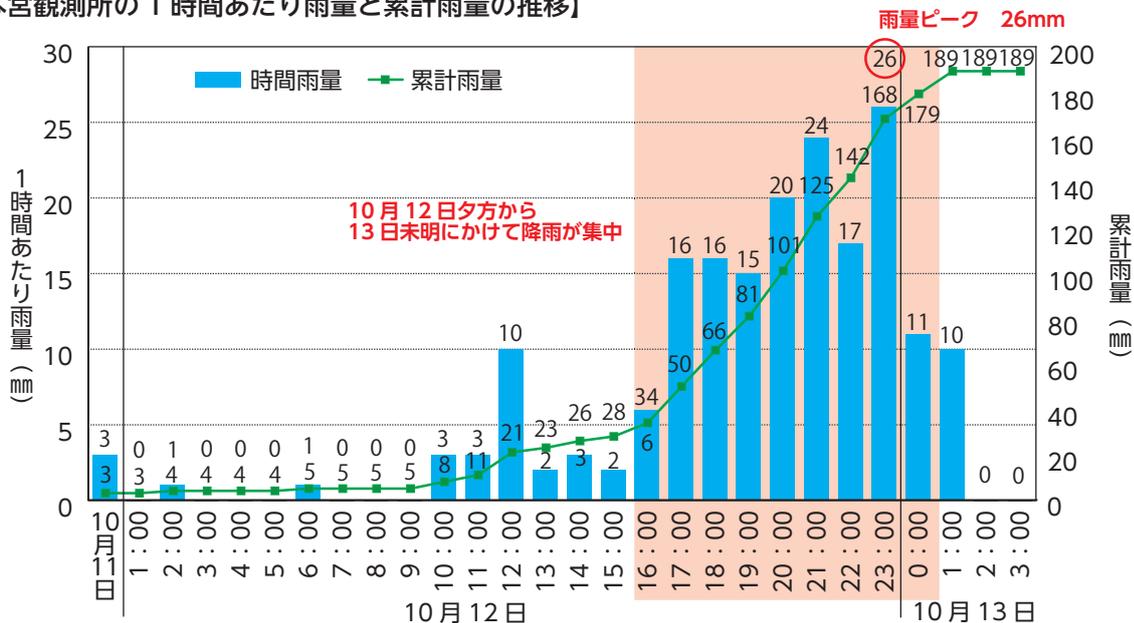
期間降水量分布図（10月12～13日）（出典：気象庁）



## 本宮市における雨量の状況

観測場所	累計雨量	1時間あたりの最大雨量
本宮観測所（本宮市本宮字上千束 地内）	189 mm	26 mm (12日 23時)
白沢総合支所雨量計（本宮市白岩字堤崎 地内）	209 mm	32 mm (12日 21時)

【本宮観測所の1時間あたり雨量と累計雨量の推移】



## 【事象① 阿武隈川の越水】

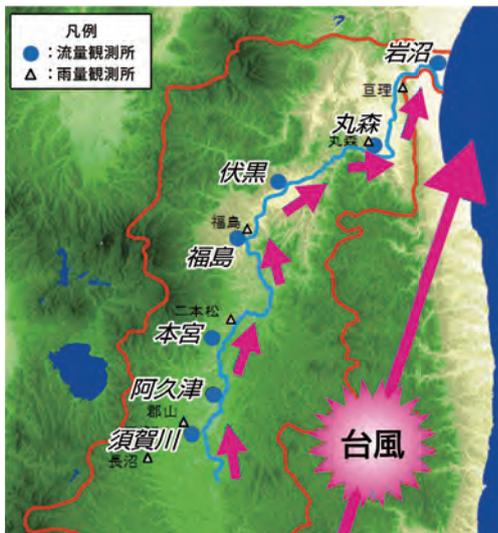


南から北へと向かう阿武隈川の流れと台風の進路が並行となり、水かさが持続的に急増したことから、計画高水位を超過し、堤防のかさ上げが未了であった上町地区から下町地区の約700m区間で越水が発生。

※越水…堤防を越えて川などの水があふれ出ること

### 阿武隈川水位の記録

月日	10月12日				10月13日				
時間	10:00	14:00	18:00	22:00	2:00	2:10	6:00	10:00	14:00
水位	0.67m	1.60m	3.21m	6.35m	9.68m	9.73m	9.30m	8.81m	8.24m



- ・阿武隈川は南から北へ流下しており、河川の流下方向と台風の進路が一致しやすいため、台風性降雨の場合には河川流出量が増大する傾向がある。
- ・台風の進路と河川の流下方向が重なることで上流部から下流部までの最大流量がほぼ同時期に発生し、広範囲にわたる被害が一時に集中する傾向がある。

(出典：国土交通省東北地方整備局福島河川国道事務所 2020 業務概要)

## 【事象② 安達太良川の堤防決壊】



安達太良川の水が本流である阿武隈川との合流地点で行き場を失い、逆流してあふれ出す「バックウォーター現象」が発生。阿武隈川と安達太良川の合流付近（合流部より約500m上流）の左岸側（JR東北本線と北川原田樋門）で堤防が決壊し、市内中心部では、内・外水の双方での浸水が発生した。

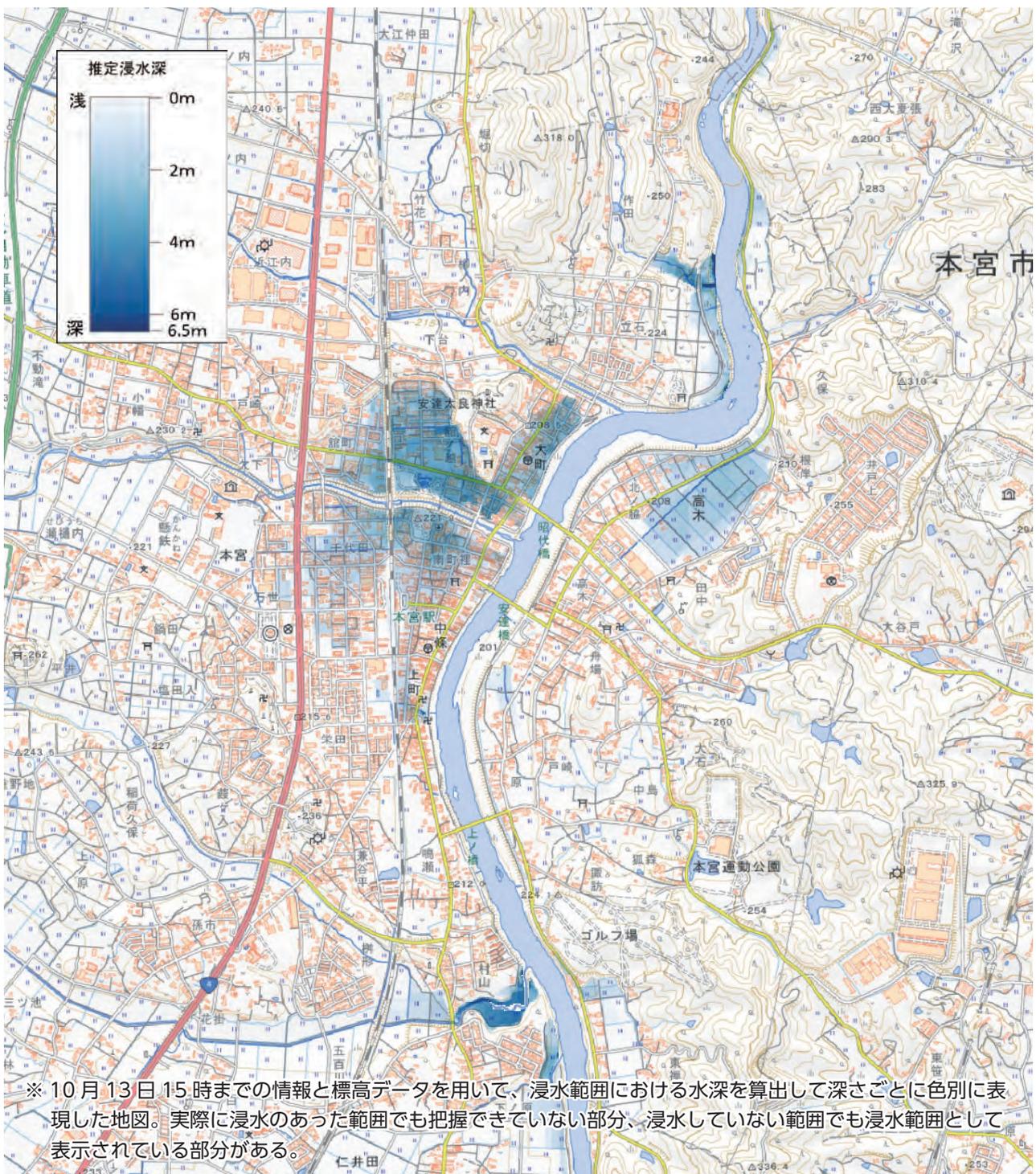
※決壊…堤防が崩壊し、川の水が堤防から流れ出ること

### 安達太良川水位の記録

月日	10月12日				10月13日				
時間	10:00	14:00	18:00	22:00	23:10	2:00	6:00	10:00	14:00
水位	0.04m	0.53m	1.32m	1.74m	1.88m	1.59m	0.95m	0.63m	0.46m

# 被害状況

市内は、阿武隈川の氾濫と安達太良川の堤防決壊により、住宅地や商店街、スーパーマーケット、病院、金融機関、事業所などが集中する国道4号東側の中心市街地が広範囲にわたって浸水した。また、高木地区、和田地区、仁井田地区、糠沢地区でも浸水被害が発生。あわせて各地区で土砂災害、風害が発生した。



出典：「浸水推定段彩図（速報）」（国土地理院）より抜粋

### 人的被害

人的被害としては、7人が浸水等の犠牲となった。7人の被災した地区については、安達太良川の決壊箇所に近い館町地区が2人、阿武隈川の越水箇所に近い南町裡地区が3人、内水被害のある大町地区、隣接する館ノ越地区でそれぞれ1人であった。

死者	行方不明者	重症者	軽症者
7人	0人	0人	0人

出典：「令和元年台風第19号等による被害状況即報（第95報）」（福島県）

### 住家被害

住家（居住のために使用している建物）の被害状況は以下のとおり。

全壊	半壊	一部損壊	床上浸水	床下浸水
265件	639件	181件	899件	146件

出典：「令和元年台風第19号等による被害状況即報（第106報）」（福島県）

	本宮地区	白沢地区	計
床上	896件	3件	899件
床下	142件	4件	146件
合計	1,038件	7件	1,045件

出典：「台風第19号の被害状況について」（本宮市）

公共施設等被害

施設名	被害状況
みずいろ公園	冠水／電気施設・循環設備・トイレ等
スマイルキッズパーク	法面崩落（1箇所）
中央公民館	浸水／電気設備および水道／ 蔵書等の水没（約 17,000 冊）
本宮市役所万世分庁舎	浸水
本宮第 1 保育所	浸水
歴史民俗資料館	浸水／古文書等の水没
サンライズもとみや	浸水
えぼか（元いきいき応援プラザ）	駐車場一部冠水
本宮市商工会館	浸水
北川原田市営住宅	浸水（1棟6戸）
コミュニティ交流広場パークゴルフ場	冠水
長屋みややま運動場	法面崩落（2箇所）
長屋体育館	法面崩落（1箇所）
稲沢運動場	法面崩落（1箇所）
稲沢ふれあい広場	法面崩落（3箇所）
モコステーション（本宮市地域交流センター）	駐車場一部冠水

出典：本宮市資料（記者会見資料ほか）より作成



道路等被害

【市道等被害状況】

法面崩落	路盤洗掘	倒 木	土砂撤去	その他	計
160 件	23 件	7 件	22 件	1 件	213 件

出典：本宮市記者会見資料

【高速道路の通行規制】

	区間名	規制理由	規制内容	規制時間
1	郡山南 IC ～村田 IC	大雨	全面通行止め	10/12 16:00 ～

出典：「令和元年台風第 19 号等による被害状況等について（第 54 報）」（国土交通省）

【道路交通規制箇所】

	路線名	通行止区間（区域）		延長 (km)	規制理由	規制時間	
		起点	終点			開始	解除
1	二本松・金屋線	和田字江口	高木字長畑	5.2	路肩崩壊	10/12 19:00	R2.7/29 14:30
		和田字滝ノ沢	和田字西大夏張	0.2	路肩崩壊	10/12 19:00	R2.7/4 8:00
2	須賀川・二本松線	仁井田字光田	仁井田字一里壇	0.5	冠水	10/12 23:00	10/14 13:18
3	二本松・金屋線	高木字鳴瀬	高木字原	0.2	冠水	10/12 21:00	10/14 13:00
4	本宮・熱海線	本宮字荒町	仁井田字吹上	2.0	冠水	10/13 2:00	10/14 13:00
5	本宮・三春線	本宮字館町	本宮字荒町	0.5	冠水	10/13 2:00	10/14 13:00
6	飯野・三春・石川線	稲沢字平田石	稲沢字平田石	0.1	土砂崩落	10/13 3:00	10/13 10:00
7	須賀川・二本松線	本宮字仲町	本宮字堀切	1.0	冠水	10/13 4:00	10/14 13:00
8	本宮・岩代線	本宮字荒町	本宮字北ノ脇	0.3	冠水	10/13 17:00	10/14 13:00
9	本宮・三春線	本宮字中條	高木字舟場	0.3	冠水	10/13 17:00	10/14 13:00
10	二本松・金屋線	本宮字兼谷～高木字原地内 ※上ノ橋		—	冠水	10/12 21:00	10/14 16:00
11	本宮・常葉線	白岩字堤崎地内		—	冠水	10/12 23:30	10/13 8:30
12	清水前・蛇ノ鼻線	本宮字蛇ノ鼻地内		—	倒木	10/12 20:22	10/13 6:10
13	関根線	本宮字関根地内 ※堀切第 3 橋		—	冠水	10/12 21:00	10/13 6:35
14	南ノ内線	荒井字南ノ内地内 ※南ノ内地下道		—	冠水	10/12 21:30	10/13 7:30
15	恵向 14 号	荒井字恵向地内 ※恵向地下道		—	冠水	10/12 21:30	10/13 4:20
16	茂庭・庄内線	青田字茂庭地内 ※茂庭地下道		—	冠水	10/12 22:00	10/13 2:45
17	万世 3 号線	本宮字万世地内		—	冠水	10/12 22:30	10/14 6:00
18	庄内 2 号線	青田字庄内地内		—	冠水	10/12 23:30	10/13 6:00
19	榊形線	仁井田字瀬戸川地内		—	冠水	10/12 23:40	10/13 5:55
20	富士内・上沢線	仁井田字富士内地内		—	冠水	10/12 23:40	10/14 16:00
21	江口 6 号線	和田字江口地内		—	冠水	10/12 17:00	10/16 15:00
22	上橋ツ辺 5 号線	松沢字上橋ツ辺地内		—	土砂	10/12 23:45	10/13 16:00
23	仁井田・白岩線	平成大橋		—	冠水	10/13 0:40	10/14 16:00
24	小田部・八幡線	糠沢字八幡地内		—	冠水	10/13 1:00	10/14 11:00

出典：「令和元年台風第 19 号等による被害状況即報」（福島県）

## 【河川等被害状況】

	河川	地点		被害状況	
		左右岸	河口からの距離	状態	数量 (約)
1	阿武隈川	右岸	66.8km	護岸洗掘	L=2 m、W=2 m
2	阿武隈川	左岸	67.5km	堤防洗掘 法崩れ	L=10 m、W=7 m
3	阿武隈川	左岸	67.4km	護岸洗掘	L=45m
4	阿武隈川	左岸	67.6km	護岸洗掘	L=60m
5	阿武隈川	左岸	68.8km	樋管ゲート破損	1 箇所
6	阿武隈川	左岸	69.2km	河岸洗掘	L=55m
7	阿武隈川	右岸	70.2km	河岸洗掘	L=53m
8	阿武隈川	右岸	70.5km	河岸洗掘	L=110m
9	阿武隈川	右岸	70.8km	河岸洗掘	L=20m
10	阿武隈川	右岸	71.3km	河岸洗掘	L=70m
11	阿武隈川	右岸	71.4km	護岸洗掘	L=100m
12	阿武隈川	右岸	71.9km	河岸洗掘	L=50m
13	阿武隈川	右岸	72.1km	河岸洗掘	L=40m
14	安達太良川	—	—	決壊	1 箇所

出典：「令和元年台風第 19 号等による被害状況等について（第 54 報）」（国土交通省）

## ライフライン等被害

ライフラインについては、上下水道施設で浸水などによる被害が出たほか、10月12日～14日にかけて本宮地区、和田地区、稲沢地区で停電が発生、10月14日～16日にかけて一部通信事業者で通信障害が発生した。

## 【電気（停電）】

	地区	戸数	停電発生時刻	停電解消時刻
1	稲沢地区	2 戸	10/12 22:51	10/13 17:01
2	和田地区	41 戸	10/12 22:56	10/14 11:44
3	本宮地区	778 戸	10/13 11:41	10/13 19:39

出典：本宮市記者会見資料

## 【通信】

	事業者（サービス名）	被害状況等
固定	被害なし	
携帯 電話等	NTT ドコモ	被害なし
	KDDI(au)	通信障害（一部エリアに支障あり） 10月14日 7:00 現在～10月14日 15:30 時点で復旧済み
	ソフトバンク	【携帯】被害なし 【PHS】通信障害（一部エリアに支障あり） 10月14日 15:30 現在～10月16日 5:30 時点で復旧済み

出典：「令和元年台風第 19 号による被害状況等について」（総務省）

【上水道被害状況】

	施設名	被害状況	復旧状況
1	平田石浄水場	フェンス破損	復旧完了
2	東禅寺浄水場	電磁流量計被災	復旧完了

出典：本宮市記者会見資料

【下水道被害状況】

	施設名	被害状況	復旧状況
1	本宮第三ポンプ場（汚水）	浸水のため機能停止（機器類破損）	復旧完了
2	舘町排水ポンプ場（雨水）	浸水のため機能停止（機器類破損）	復旧完了
3	万世排水ポンプ場（雨水）	浸水のため機能停止（機器類破損）	復旧完了
4	下ノ原マンホールポンプ場	操作盤破損	復旧完了
5	東町裏排水ポンプ場	電気設備破損	復旧完了
6	太郎丸排水ポンプ場	フェンス破損	復旧完了

出典：「令和元年台風第 19 号等による被害状況等について（第 54 報）」（国土交通省）/  
本宮市記者会見資料



本宮第三ポンプ場の応急復旧



冠水した万世排水ポンプ場



舘町排水ポンプ場



東町排水ポンプ場

### 交通機関の被害

市内交通機関については、10月12日以降、「安積永盛～本宮間」、「本宮～松川間」でJR東北本線が運休した。

#### 【鉄道の運転見合わせ】

	運転休止区間	運転休止日時	運転再開日時
1	安積永盛～本宮	10月12日 16:26	10月18日 始発
2	本宮～松川	10月12日 16:26	10月26日 始発

※本宮駅～松川駅間の代行バス運行

#### 【タクシー】

施設被害なし

### 産業の被害

商工業の被害としては、市内 285 の事業所で浸水被害があり、そのほとんどが床上浸水となっている。農林業については、林道・農道・水路等の農林業施設が被害を受けたほか、水田や畑へ土砂が流入し、水稻や大豆、キャベツ、トマト、白菜、ネギ等の作物に被害が及んだ。

#### 【商工業等の被害事業所】

床上浸水	床下浸水	計
267 事業所	18 事業所	285 事業所

出典：本宮市記者会見資料

#### 【農林業施設の被害】

施設種別	被害状況	被害箇所数
林道	路盤洗掘・路肩崩落・法面崩落	9 箇所
農道	路盤洗掘・法面崩落	2 箇所
水路	閉塞	26 箇所
揚水ポンプ	浸水被害（安達疏水土地改良区第一揚水機場／高木用水土地改良区）	2 箇所
水田	土砂流入・稲わら流出	24 箇所
畑	土砂流入	3 箇所

出典：本宮市記者会見資料



#### 【農作物の被害】

被害状況	被害規模
水稻・大豆・キャベツ・トマト・白菜・ネギなど	約 15,500㎡

出典：本宮市記者会見資料

# 第2章 救助



館町地区で建物に取り残された人をボートで救助する自衛隊員(令和元年10月13日11時46分)

# ・復旧





被害情報を収集する災害対策本部(令和元年10月13日2時25分)



台風の接近を見据えた避難所の開設(えぼか)  
(令和元年10月12日10時00分)



安達広域消防本部の救助活動  
(令和元年10月13日15時52分、下町地内)



陸上自衛隊のボートによる救助  
(令和元年10月13日11時46分)



浸水した住宅に取り残された人を救助する緊急消防援助隊  
(令和元年10月13日12時51分)



国土交通省の排水ポンプ車による復旧活動  
(令和元年10月13日12時48分、東町地内)



冠水した谷病院に向けてボートで看護スタッフを輸送する県警  
広域緊急援助隊 (令和元年10月13日11時21分、えぼか前)



被害を受けた家屋の片付けのボランティアを行う本宮高校の生徒  
(令和元年10月16日14時26分)



市のほか国・県・県警・消防が出席する災害  
対策本部(令和元年10月14日12時44分)



多くのボランティアが集まる災害ボランティアセンター受付 (令和元年10月20日9時19分、えぼか駐車場)



本宮市消防団による道路清掃  
(令和元年10月14日15時42分、中條地内)



陸上自衛隊による入浴サービス  
(令和元年10月22日9時58分)



市内17箇所に設置された避難所  
(令和元年10月25日12時31分)



各避難所への給食準備  
(令和元年10月13日9時33分)



本宮運動公園みんなの原っぱでの災害ごみ受け入れ（令和元年10月20日11時21分）



南達建設業組合による災害ごみの回収  
（令和元年10月20日9時46分）



安達太良川の決壊現場を視察する安倍首相  
（令和元年10月17日11時27分）



全国へそのまち協議会加盟市町村からの支援物資を届けてくださった  
渡川市（令和元年10月16日13時52分）



日赤奉仕団によるボランティアセンターでの炊き出し  
(令和元年10月27日12時12分)



包括連携協定を結ぶ相模女子大学の学生の皆さんがボランティア活動に協力  
(令和元年10月26日10時02分)



友好都市の上尾市からの支援物資  
(令和元年10月16日16時37分)



県文化財課、ふくしま歴史資料保存ネットワーク、福島大学などが歴史民俗資料館の古文書などを修復  
(令和元年10月22日10時36分)



対回支援として給食、避難所、保健師、災害廃棄物などさまざまな支援をいただいた  
四国3県と福島県の自治体職員の皆さん (令和元年11月30日17時08分)

# 初動対応

## 発災前後の市の主な動き

日時		市の対応等
令和元年 10月10日(木)	18:55	防災行政無線による注意喚起
10月11日(金)	06:45	防災行政無線による注意喚起
	09:00	第1回台風対策会議
	09:40	土のう配布
	18:55	防災行政無線による注意喚起
10月12日(土)	04:39	強風注意報・雷注意報発表
	06:45	防災行政無線による注意喚起
	08:30	避難所開設準備
	09:00	第2回台風対策会議
		土のう配布
		防災行政無線（避難所開設について）
	09:05	<b>災害対策本部設置</b>
	10:00	避難所開設（16箇所）
	10:06	大雨注意報発表
	11:30	防災行政無線（避難所開設について）
	12:18	洪水注意報発表
	14:00	<b>【警戒レベル3】避難準備・高齢者等避難開始発令（市全域）</b>
	14:09	大雨警報（土砂災害）、暴風警報発表
	14:15	緊急速報エリアメール・防災行政無線 （【警戒レベル3】避難準備・高齢者等避難開始発令について）
	14:30	第3回台風対策会議
	15:45	防災行政無線（【警戒レベル3】避難準備・高齢者等避難開始発令について）
	15:48	洪水警報発表
	17:30	第4回台風対策会議
	17:49	土砂災害警戒情報発表
	18:10	大雨警報（浸水害）発表
	18:15	防災行政無線（高木地区公民館から本宮総合体育館への避難所変更について）
	18:30	第5回台風対策会議
	18:55	防災行政無線（高木地区公民館から本宮総合体育館への避難所変更について）
19:10	阿武隈川 水防団待機水位（4.0m）到達情報	
19:30	第6回台風対策会議	
20:00	<b>【警戒レベル4】避難勧告発令（阿武隈川流域の本宮1～9区、高木1～4番組、仁井田1区・10区、糠沢4区、和田1区）</b>	
20:15	緊急速報エリアメール（【警戒レベル4】避難勧告発令について）	

日時		市の対応等
10月12日(土)	20:30	第7回台風対策会議
	20:40	阿武隈川 氾濫注意水位 (5.0 m) 到達情報
	21:30	第8回台風対策会議
	22:00	<b>大雨特別警報 (土砂災害・浸水害) 発表</b>
	22:15	<b>【警戒レベル4】避難指示発令 (阿武隈川流域の本宮1～9区、高木1～4番組、仁井田1区・10区、糠沢4区、和田1区)</b>
		市長による防災行政無線 (対象地区の避難を指示)
	22:30	第9回台風対策会議
	22:35	緊急速報エリアメール (【警戒レベル4】避難指示発令について)
	23:10	安達太良川が最高水位 1.88m を観測
	23:30	第10回台風対策会議
10月13日(日)	00:20	市長による防災行政無線
		「絶対に川に近づかないでください。安全な場所に避難し命を守る行動をとってください。」
	00:30	第11回台風対策会議
	00:50	<b>【警戒レベル4】避難指示 (緊急) 発令 (旧本宮町全域)</b>
		市長による防災行政無線 (旧本宮町全域の避難を指示)
	00:58	<b>阿武隈川が越水</b>
	01:05	<b>【警戒レベル5】災害発生情報発令 (旧本宮町全域)</b>
		市長による防災行政無線 「安全な場所に避難し、避難できない場合は垂直避難し、家の2階以上に移動し、命を守る行動をとってください。」
	01:15	市長による防災行政無線
		「安全な場所に避難し、避難できない場合は垂直避難し、家の2階以上に移動し、命を守る行動をとってください。」
	01:30	第12回台風対策会議
	01:45	緊急速報エリアメール (【警戒レベル5】災害発生情報について)
	02:00	市長による防災行政無線 「水位の上昇。消防団及びポンプ作業は撤収、命を守る行動をとってください。」
	02:10	阿武隈川が最高水位 9.73m を観測
	02:30	第13回台風対策会議
	03:10	防災行政無線による呼びかけ
		「阿武隈川越水。消防団及びポンプ作業は撤収、自宅で避難されている方は屋外へ出ないようにしてください。」
03:30	第14回台風対策会議	
04:00	大雨特別警報 (土砂災害) から警報へ、強風警報から注意報へ、雷注意報解除	
	避難所増設 (本宮第一中学校体育館)	
04:10	防災行政無線による呼びかけ	
	「阿武隈川越水。自宅の高いところに避難してください。」	
04:30	第15回台風対策会議	
05:00	避難者数がピーク (839人、356世帯)	
05:05	自衛隊を要請	
05:30	第16回台風対策会議	
05:50	防災行政無線 (自衛隊派遣要請について)	
06:30	第17回台風対策会議	

日時		市の対応等
10月13日(日)	08:30	第18回台風対策会議
	08:35	自衛隊 ボートによる救助開始
	09:00	避難所のうち、仁井田地区公民館、岩根農構センター、白沢公民館和田分館、松沢分館、白岩分館、稲沢分館、糠沢分館、長屋分館を閉鎖
	09:30	第19回台風対策会議
	09:57	土砂災害警戒情報解除
	10:30	福島県消防防災ヘリコプターによる救助開始
	10:58	大雨警報（土砂災害）解除
	11:00	第20回台風対策会議
	12:44	暴風警報解除
	13:00	第21回台風対策会議
	15:00	第22回台風対策会議
	18:00	避難所のうち、青田農構センターを閉鎖
	18:30	第23回台風対策会議
10月14日(月)		第24回台風対策会議
	08:30	被害調査を開始 災害ごみの受け入れを開始（本宮運動公園みんなの原っぱ）
	10:25	南達建設業組合・消防団による道路清掃、泥撤去
	12:50	水防警報解除
	13:00	本宮市社会福祉協議会が災害ボランティア窓口設置
	14:55	洪水警報解除
	18:00	避難所のうち、荒井地区公民館を閉鎖
10月15日(火)	07:00	第1保育所が仮園舎での保育を再開
10月16日(水)	18:00	避難所のうち、本宮市総合体育館を閉鎖
10月19日(土)	14:00	自衛隊入浴サービスの開始
10月22日(火)	08:30	罹災証明書の申請受付開始

出典：「本宮市令和元年東日本台風に関する災害対応検証報告書」

# 避難状況

## 避難情報の発令状況

### ①【警戒レベル3】避難準備・高齢者等避難開始の発令

発令日時	10月12日(土) 14:00
対象地区	市内全域
対象世帯数	10,907世帯
対象人数	30,426人
発令理由	台風警戒のため
解除日時	10月16日(水) 14:25

### ②【警戒レベル4】避難勧告の発令

発令日時	10月12日(土) 20:00
対象地区	阿武隈川流域の本宮1区から9区、高木1番組から4番組、仁井田1区・10区、糠沢4区、和田1区
対象世帯数	本宮1区から9区 ⇒ 1,372世帯 高木1番組から4番組 ⇒ 410世帯 仁井田1区・10区 ⇒ 101世帯 糠沢4区 ⇒ 15世帯 和田1区 ⇒ 10世帯 合計 ⇒ 1,908世帯
対象人数	本宮1区から9区 ⇒ 3,471人 高木1番組から4番組 ⇒ 1,098人 仁井田1区・10区 ⇒ 159人 糠沢4区 ⇒ 68人 和田1区 ⇒ 31人 合計 ⇒ 4,827人
発令理由	河川氾濫の危険性が高まったため
解除日時	10月12日(土) 22:15 ※【警戒レベル4】避難指示(緊急)に移行

③【警戒レベル4】避難指示（緊急）の発令

発令日時	10月12日（土） 22:15
対象地区	阿武隈川流域の本宮1区から9区、高木1番組から4番組、仁井田1区・10区、糠沢4区、和田1区
対象世帯数	本宮1区から9区 ⇒ 1,372 世帯 高木1番組から4番組 ⇒ 410 世帯 仁井田1区・10区 ⇒ 101 世帯 糠沢4区 ⇒ 15 世帯 和田1区 ⇒ 10 世帯 合計 ⇒ 1,908 世帯
対象人数	本宮1区から9区 ⇒ 3,471 人 高木1番組から4番組 ⇒ 1,098 人 仁井田1区・10区 ⇒ 159 人 糠沢4区 ⇒ 68 人 和田1区 ⇒ 31 人 合計 ⇒ 4,827 人
発令理由	河川氾濫の危険性が高まったため
解除日時	本宮1区から9区、高木1番組から4番組、仁井田1区・10区 ⇒ 10月13日（日） 0:50 ※【警戒レベル4】避難指示（緊急）を旧本宮町全域に拡大 糠沢4区、和田1区⇒ 10月16日（水） 14:25

④【警戒レベル4】避難指示（緊急）の発令

発令日時	10月13日（日） 0:50
対象地区	旧本宮町全域
対象世帯数	8,595 世帯
対象人数	22,806 人
発令理由	河川氾濫発生の危険性が高まったため
解除日時	10月16日（水） 14:25

⑤【警戒レベル5】災害発生情報の発令

発令日時	10月13日（日） 1:05
対象地区	旧本宮町全域
対象世帯数	8,595 世帯
対象人数	22,806 人
発令理由	河川氾濫発生のため
解除日時	—

### 避難所開設と避難状況

市内の避難所は、10月12日の10時に16カ所（高木地区公民館は18時15分に総合体育館に変更）、10月13日の4時に1カ所の、計17カ所が開設された。その後、10月16日までに11カ所が閉鎖、12月1日までに5カ所が閉鎖され、最終的には令和2年2月16日に全ての避難所が閉鎖された。

#### 【避難所の開設状況】

	避難所名	開設日時	閉鎖日時
1	あぶくま憩の家	10月12日 10:00	令和2年2月16日 12:00
2	モコステーション		12月1日 12:00
3	仁井田地区公民館		10月13日 09:00
4	えぼか（元気いきいき応援プラザ）		12月1日 12:00
5	岩根農構センター		10月13日 09:00
6	本宮まゆみ小学校体育館		11月4日 18:00
7	本宮小学校体育館		11月30日 21:00
8	白沢公民館和田分館		10月13日 09:00
9	白沢公民館松沢分館		
10	白沢公民館白岩分館		
11	白沢公民館稲沢分館		
12	白沢公民館糠沢分館		
13	白沢公民館長屋分館		
14	荒井地区公民館		
15	青田農構センター		10月13日 18:00
16	高木地区公民館※		10月12日 18:15
	総合体育館	10月12日 18:15	10月16日 18:00
17	本宮第一中学校体育館	10月13日 04:00	12月1日 12:00

※ 10月12日18:15に総合体育館に変更

出典：「令和元年台風第19号等に関する被害状況即報」（福島県）より作成



モコステーション内の避難所



総合体育館内の避難所

【避難者数の推移】

市内の避難者数は、10月12日の夕方から13日の朝方にかけて増加し、13日の5時に839人とピークを迎えた。13日の18時には500人ほどまで減少。その後、借り上げ住宅への入居などが進み、10月末には250人ほどまで減少し、令和2年3月末までにはほとんどの避難者の避難が終了した。



出典：10月13日までは本宮市資料、以降は「令和元年台風第19号等に関する被害状況即報」（福島県）より作成

# 他自治体からの職員応援

福島県をはじめ、他県及び県内外の市町村から職員の派遣をいただき、災害対応業務の支援をいただいた。

市町村等名※（ ）内は延べ人数	活動期間	活動内容
福島県 (560)	10月16日～12月26日	避難所運営、り災証明書発行、各種窓口相談、保健師の被災地域訪問
福島市 (3)	10月16日～10月18日	家屋等被害調査
大玉村 (59)	10月15日～10月17日 10月21日～10月25日	家屋等被害調査、災害ごみ集積所対応、り災証明書発行
西会津町 (3)	11月1日～11月3日	保健師の被災地域訪問
磐梯町 (21)	10月20日～11月9日	り災証明書申請受理等
猪苗代町 (17)	10月23日～11月8日	保健師の被災地域訪問
浪江町 (3)	10月24日～10月25日	文化財の救援応援活動
愛媛県 / 大洲市 (8)	10月26日～10月29日	住家被害認定調査
愛媛県 (458) / 新居浜市、鬼北町、愛南町、西予市、 松山市、今治市、上島町、久万高原町、 内子町、宇和島市、八幡浜市、西条市、 砥部町、松前町、松野町、大洲市、 四国中央市、東温市、伊予市、伊方町 高知県 (453) / 香美市、南国市、中土佐町、いの町、 津野町、仁淀川町、四万十市、土佐市 香川県 (465) / 丸亀市、善通寺市、綾川町 ※総務省「被災市区町村応援職員確保システム」による四国3県の支援	10月19日～12月14日	避難所運営、住家被害認定調査・判定、仮設・市営住宅受付、市税等の減免申請、保健師の被災地域訪問等
財務省 東北財務局 (24)	10月28日～11月29日	り災証明書発行



# 医療・救護・感染予防対策

## 医療・救護支援

被災された方の健康維持のため、福島県・愛媛県保健師チーム等の応援をいただきながら、被災地域全戸や避難所を訪問し、健康状態の把握と支援を行った。

### 【訪問延べ人数】

被災地域全戸訪問	2,226人 (560世帯)
避難所訪問	333人



### 【保健師チームの応援】

保健師チーム	期間	人数
福島県保健師チーム	10月21日～12月10日	延べ100人
愛媛県保健師チーム	10月28日～11月15日	延べ54人

※ DMAT（災害派遣医療チーム）、JMAT（日本医師会災害医療チーム）、JRAT（大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会）、県栄養士会等の応援もあり

## 衛生・感染予防対策

### 【インフルエンザ集団接種】

安達医師会協力のもと、避難所におけるインフルエンザ集団接種を行い、94人が接種した。

### 【消石灰、消毒剤の配布等】

浸水区域の世帯を対象に、床下等消毒用の消石灰、泥水に浸かった壁面や家財道具用の消毒剤（塩化ベンザルコニウム）を配布し、噴霧器の貸出を行った。



### 【本宮市保健医療福祉活動会議】

地域医療と保健福祉を併せた復興に取り組むための情報共有の場として、本宮市のほか、安達医師会・薬剤師会、安達地方広域行政組合、日本赤十字社、福島県県北保健福祉事務所等が参加する『本宮市保健医療福祉活動会議』を計14回開催した。

# 生活支援

## り災証明書の申請受付

被災された方が各種支援制度等の申請をするために必要なり災証明書について、発災後の令和元年10月14日から被害調査を開始し、10月22日から本宮市役所でのり災証明書の申請受付を開始した。

### 【り災証明書発行状況（令和3年10月1日現在）】

全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊 (準半壊)	一部損壊 (10%未満)	計
265件	198件	442件	29件	152件	1,087件
24%	18%	41%	3%	14%	100%



## 災害見舞金（令和3年10月1日現在）

居住している住家が被害を受けた世帯に対し、「災害見舞金」を支給した。

区分	世帯あたりの見舞金	件数	支給金額
全壊	100,000円	242件	24,200,000円
半壊	50,000円	558件	27,900,000円
一部損壊（床上浸水）	30,000円	36件	1,080,000円
一部損壊（床下浸水）	10,000円	115件	1,150,000円
合計		951件	54,330,000円

## 被災者生活再建支援制度（令和3年10月1日現在）

被災された方の生活再建を支援するため、全壊・大規模半壊等の住宅の被災の状況に応じ「被災者生活再建支援金」の申請手続きを行った。

申請世帯数	445世帯
-------	-------

## 被災者生活支援特別給付金（令和3年10月1日現在）

居住している住家が半壊、または床上浸水した世帯に対し、「被災者生活支援特別給付金」を支給した。

※被災者生活再建支援制度等、他の支援金を受給されている世帯は対象外。

支給済	386件（38,600,000円）
-----	-------------------

### 弁護士による無料法律相談

福島県弁護士と日本司法支援センター（法テラス）の協力により、台風第19号で被災された方の無料法律相談会を本宮市地域交流センター（モコステーション）で開催した。生活再建に必要な民事に関する法律問題全般について相談を受け付けた。



実施期間	実施回数	相談件数
12月3日～1月14日	8回	18件

### 入浴サービス

浸水被害を受け、水道等の使用ができない被災者の方に対して、陸上自衛隊による入浴支援をいただいた。また、入浴施設の無料開放を行った。

#### 【陸上自衛隊の入浴支援】

場所	実施期間
本宮第一中学校体育館 駐車場	10月19日～10月31日

#### 【入浴施設の無料開放】

場所	実施期間
温熱ケア・天然温泉 天空郷	令和元年11月1日～令和2年3月31日
本宮市市民プール	令和元年10月16日～令和2年10月17日
高齢者ふれあいプラザ 荒井	令和元年10月12日～令和3年1月31日
高齢者ふれあいプラザ 岩根	
あぶくま憩の家	
あだたら憩の家	

【入浴送迎バス等の運行】 令和元年10月15日～令和元年11月30日

### 市内公共交通無料パスポートの交付

生活の早期再建、生活環境の維持のため、市内公共交通を無料で利用できる「無料乗車パスポート」を交付した。

申請件数（世帯）	交付者数
106世帯	191人

# 災害廃棄物・公費解体

## 災害廃棄物の運搬

本宮市では、10月14日8時30分に、災害廃棄物仮置場（個人搬入集積場）を本宮運動公園内「みんなの原っぱ」に設置した。翌日の15日には、災害廃棄物の回収を開始し、18日には、高木地区に「前田仮置場（収集業者集積場）」を設置した。

令和2年1月27日には、新潟県五泉市の五泉地域衛生施設組合に災害廃棄物の焼却を受け入れていただき、2月17日には葛尾村内、4月6日には二本松市東和地区内における国の仮設焼却施設の受け入れにより、可燃性廃棄物の処理を目標の1年以内に完了することができた。

### 【災害廃棄物仮置場】

名称	場所	敷地面積	災害廃棄物量	開設日	搬出完了日
みんなの原っぱ	本宮運動公園内（高木地区）	14,000㎡	6,470 t	10月14日	令和2年7月15日
前田仮置場	高木地区	3,000㎡	1,810 t	10月18日	令和2年9月30日

### 【搬出場所（可燃性廃棄物）】

名称	場所	受入量	受入開始日	受入完了日
五泉地域衛生施設組合	新潟県五泉市	110 t	令和2年1月27日	令和2年2月7日
葛尾村仮設焼却施設	葛尾村	2,600 t	令和2年2月17日	令和2年4月1日
二本松市東和地区仮設焼却施設	二本松市	900 t	令和2年4月6日	令和2年4月20日

## 被災家屋などの解体撤去（公費解体）

浸水被害により、「全壊」「大規模半壊」「半壊」の認定を受けた家屋などについて、二次被害の防止や被災された皆さんの生活再建を支援するため、本宮市で解体撤去工事を行った。

解体種別	件数	廃棄物処理量
公費解体撤去処理	199件	15,988 t
自費解体撤去処理（償還払）	14件	-



# 市税・保険料・手数料等の減免

## 各種証明書の交付手数料の免除

各種公的支援制度等の申請に添付する証明書の交付手数料を免除した。

### 【免除した証明書の種類】

- ①住民票の写し ②印鑑登録証明書 ③戸籍に関する証明 ④所得・課税証明書 ⑤納税証明書  
⑥固定資産関係証明書 ⑦通知カード再交付 ⑧マイナンバーカードの再発行

## 固定資産税の減免

被害を受けた家屋等の固定資産税を被害の程度に応じて減免した。

### 【減免件数】

納税義務者数	全壊	大規模半壊	半壊	合計件数	減免額
691人	391件	261件	1,011件	1,663件	10,201,300円

## 個人市県民税の減免

被害を受けた方の個人市県民税を被害の程度に応じて減免した。

合計件数	減免額
794件	20,603,455円

## 国民健康保険税の減免

被害を受けた方の国民健康保険税を被害の程度に応じて減免した。

合計件数	減免額
302件	16,460,150円

### 国民健康保険・後期高齢者医療の医療機関等での窓口負担免除

全半壊、床上浸水など被災された国民健康保険・後期高齢者医療保険に加入の方の医療機関での窓口負担を免除した。

### 後期高齢者医療保険料の減免

被害を受けた方の後期高齢者医療保険料を被害の程度に応じて減免した。

### 介護保険料と介護サービス利用料の減免

被害を受けた方の介護保険料を被害の程度に応じて減免し、介護サービス利用料を免除した。

### 水道料金・公共下水道使用料の減免

浸水区域で水道・公共下水道を使用された方の令和元年 10 月・11 月分の水道料金・公共下水道使用料を減免した。

### 保育所保育料の減免

床上浸水以上の被災となった世帯の認可保育所保育料及び副食費を令和元年 10 月分から令和 2 年 3 月分まで減免した。

### 放課後児童クラブ保育料の減免

床上浸水以上の被災となった世帯の放課後児童クラブ保育料を令和元年 10 月分から令和 2 年 3 月分まで減免した。

# 住居等の支援

## 災害救助法による住宅の応急修理

住宅が半壊等の被害を受け、自らの資力では応急修理ができない世帯に対し、被災した住宅の屋根や台所・トイレなど日常生活に必要な最小限度の部分を市が業者に依頼し、一定の範囲内で応急的に修理した。

区分	1件あたりの上限額	件数	支払金額
全壊・大規模半壊・半壊	595,000円	526件	220,967,419円
準半壊	300,000円	16件	3,715,734円
合計		542件	224,683,153円

## 応急仮設住宅・市営住宅等の一時提供

住宅が被災し、継続的な居住が困難となった方に対して、一時的な住居を無償提供した。

【入居状況（令和3年10月1日現在）】

名称	全体戸数	入居決定戸数	現在入居者	
			戸数	人数
恵向仮設住宅	88戸	78戸	0戸	0戸
市営住宅	6戸	5戸	0戸	0戸
定住促進住宅	6戸	5戸	0戸	0戸
合計	100戸	88戸	0戸	0戸

## 民間借上げ住宅の提供

住宅が被災し、継続的な居住が困難となった方に対して、県が民間賃貸住宅を借り上げて無償提供した。

【入居状況（令和3年10月1日現在）】

所在地	入居決定戸数	現在入居戸数
本宮市内	119戸	29戸
大玉村	11戸	2戸
二本松市	5戸	2戸
郡山市	12戸	4戸
三春町	1戸	0戸
南相馬市	1戸	0戸
合計	149戸	37戸（74人）

# 全国からの支援

## 支援物資

個人・団体の皆様から食料品や飲料用品、生活必需品など 260 件の支援をいただいた。

### 【主な支援物資】

種別	品目
飲料用品	飲料水、スポーツドリンク、お茶
食料品	おにぎり、インスタント食品、お菓子
生活用品	タオル、軍手、毛布、ティッシュペーパー、トイレットペーパー、ハンドソープ、消毒液、マスク、紙おむつ、歯ブラシ、使い捨てカイロ、衣類

### 【交流市町村からの支援】

市町村	品目
全国へそのまち協議会加盟市町村 (富良野市、佐野市、渋川市、中央市、西脇市、 吉備中央町、山都町、宜野座村、(吉野町※令和 3年2月退会))	水(ペットボトル 500ml) 5,000 本、バスタオル 1,000 枚、 タオル 1,000 枚、せっけん 1,000 個、シャンプー 1,000 本、 ゴム手袋 1,000 組
友好都市(上尾市)	毛布 700 枚、土のう袋 1,200 枚

## 寄附金・義援金(令和3年12月15日現在)

件数	金額
254 件	45,077,326 円

## ふるさと納税(令和3年12月15日現在)

件数	金額
365 件	13,056,000 円

## ボランティア

本宮市社会福祉協議会では、えぽか内にボランティアセンターを設置し、災害ボランティアの受付を行った。県内外からの多くのボランティアに参加いただき、泥出しをはじめ、被災された家や家財の片付けなど清掃活動を行った。

ボランティアセンター設置期間	ボランティア数	活動件数
10月14日～11月30日	延べ 4,440 人	683 件

## 国・県への要望

安倍首相、武田防災担当大臣、赤羽国土交通大臣、内堀知事などが本宮市を視察。市から早期復旧、被災者支援などを強く要望した。※肩書、役職は来市時点のもの



台風第19号の被害状況の視察のため来県された安倍晋三首相へ、早期復旧・復興、被災者の支援について、万全を期すよう強く要望（令和元年10月17日11時38分）



決壊した安達太良川堤防を視察した安倍首相（右から2番目）と高松市長（右から1番目）



えぼかを視察し、避難者を励ます武田防災担当大臣（右）  
（令和元年10月14日14時12分）



えぼかで避難者を励ます内堀知事（右）（令和元年10月16日10時50分）



越水した阿武隈川を視察する赤羽国土交通大臣（右）  
（令和元年10月20日9時38分）



災害廃棄物仮置場を視察する内堀知事（中央）  
（令和元年10月16日13時05分）



被災企業を視察する前田康宏中小企業庁長官（右）  
（令和元年10月24日16時09分）



商店街の被害状況や意向仮設住宅を視察する自由民主党の岸田政務調査会長（手前左）と根本匠衆議院議員（手前左から2番目）（令和元年12月2日13時28分）



# 第3章 復興。



その先へ

# 天皇、皇后両陛下ご訪問

天皇、皇后両陛下は、令和元年12月26日、本宮市を訪れ被災者の皆さんを見舞われました。

両陛下は、午後に自衛隊ヘリで本宮市に入られ、安達太良川の決壊した堤防に近いみずいろ公園ふれあい橋の上から浸水箇所を視察され、高松市長から被災状況について説明をお受けになられました。両陛下は左岸と右岸に向かって黙礼されました。

その後、避難所となった「えぽか」を訪問され、被災者の皆さんを見舞われるとともに、ボランティアの本宮高校生、警察、消防、自衛隊など救助活動や被災者支援に尽力された人々をねぎらわれました。被災者一人一人と視線を合わせ、「大変でしたね」「くれぐれも体にお気を付けて」などと気遣われました。午後6時ごろ、本宮第一中学校よりヘリに乗り、福島空港から特別機で東京・羽田空港にお戻りになられました。視察先を結ぶ幹線道路では、大勢の市民らが両陛下の車列を歓迎されました。

## 【御視察の流れ】

日付	時刻	場所	詳細
12月26日	15:35頃	本宮第一中学校校庭	ご到着
	16:40頃	みずいろ公園ふれあい橋	安達太良川の決壊した堤防に近いみずいろ公園ふれあい橋の上から、浸水箇所をご視察。高松市長が被災状況を説明。両陛下は、左岸と右岸に向かって黙礼されました。
	16:50頃	本宮市民元気いきいき応援プラザ「えぽか」	被災者の皆さんを見舞われ、ボランティアの本宮高校生、警察、消防、自衛隊など救助活動や被災者支援に尽力された人々に、温かい労いのお言葉をかけられました。
	18:00頃	本宮第一中学校校庭	還御

新年恒例の「歌会始の儀」が令和2年1月16日、皇居・宮殿「松の間」で「望」をお題に行われました。そこで皇后陛下は、これまで慰問した被災地で高校生など若者がボランティアとして復旧作業に取り組み、人々に希望を与えていることを頼もしくお思いになられ、「災ひより立ち上がらむとする人に若きらの力希望もたらす」とお詠みになられました。



えぽかで被災者や災害対応に尽力した関係者に言葉をかけられる天皇、皇后両陛下



## 追悼復興祈念事業

令和元年東日本台風から1年を迎え、お亡くなりになられた方々を追悼するとともに、災害からの復旧・復興への誓いを新たにするため、令和元年東日本台風災害追悼復興祈念事業「明日のもとみやへ」を令和2年10月13日に、みずいろ公園で執り行いました。

追悼復興セレモニーでは、亡くなられた7名の方々を追悼するため、市長、市議会議長をはじめ関係者代表の方々が「追悼の灯」として、キャンドルに点火したほか、鎮魂の花火が打ち上げられました。

また、復旧・復興、そして、一日も早く元気なもとみやを取り戻す意を込めて、地元の小学生、高校生が「希望の灯」としてキャンドル点火を行いました。

さらに、本宮第一中学校2年生の大内来記さんが「明日のもとみやへ」のメッセージを力強く発表しました。

追悼復興コンサートでは、本宮高校吹奏楽部の皆さんと本宮市出身のトランペット奏者 Noby さんが、一日も早い本宮市の復旧復興への願いを込めて、演奏を披露しました。



追悼のキャンドルに火を灯す参加者



希望のキャンドルに火を灯す参加者



追悼と復興への元気を届けるため曲披露した本宮高校吹奏楽部



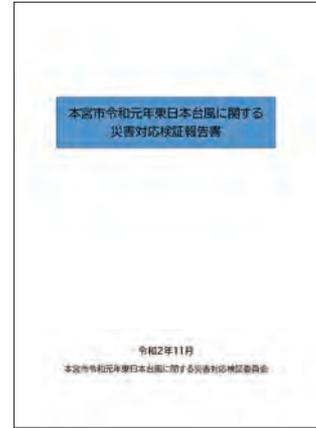
「明日のもとみやへ」のメッセージを述べる大内来記さん  
(本宮一中)

# 台風災害の検証

令和2年7月17日、令和元年東日本台風に関する災害対応検証委員会を設置し、市が行った発災前後の対応等について検証するとともに、課題等を明らかにし、今後の防災・減災対策に反映させるため、議論し報告書にまとめました。



▲朝岡委員長（左）より  
検証報告書を受け取る  
高松市長



## 【検証結果概要】

<p>検証の柱 (5つの課題)</p>	<p><b>【課題①】 市における事前の定め</b>の検証 (1) 既存計画等の定めを踏まえた市の対応</p> <p><b>【課題②】 避難情報等の伝達</b> (1) 情報伝達手段 (2) 情報伝達内容 (3) 情報伝達のタイミング (4) 情報伝達の多重化</p> <p><b>【課題③】 迅速な避難行動</b> (1) 事前認識 (2) 迅速な避難行動 (3) 避難行動要支援者等への支援</p> <p><b>【課題④】 避難所の開設・運営</b> (1) 避難所の開設場所・事前の周知 (2) 避難所の環境整備</p> <p><b>【課題⑤】 “災害時の犠牲者ゼロ” を目指すための取組</b> (1) 被災リスクの低減</p>
<p>今後の対策の 方向性</p>	<p><b>【対策①】</b> (1) 早めの避難促進 (2) 警戒レベルごとの行動基準検討</p> <p><b>【対策②】</b> (1) わかりやすい防災無線放送 (2) 新たな情報伝達手段の構築 (3) 地域内での連絡網の確立 (4) 気象情報等の取得</p> <p><b>【対策③】</b> (1) 過去の経験によらない避難行動 (2) 「想定外」に対する意識醸成 (3) 避難の重要性の認識深化 (4) 一人ひとりの避難計画検討</p> <p><b>【対策④】</b> (1) 避難所の周知徹底・生活負担軽減 (2) 備蓄体制の強化 (3) 避難所の新型コロナ対策 (4) 避難所のライフラインの確保</p> <p><b>【対策⑤】</b> (1) 平時の「想定外」への対応検討 (2) 自助・共助・公助の理解促進</p>

# 阿武隈川の治水対策

## 堤防のかさ上げ

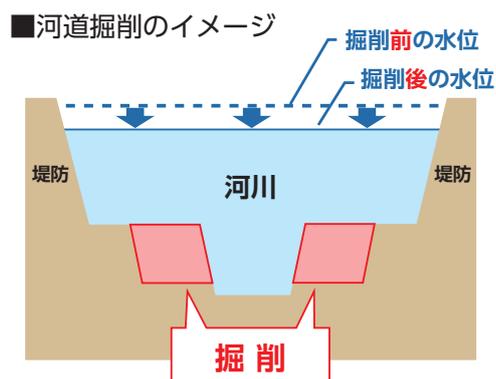
国土交通省による堤防のかさ上げ工事が行われ、令和2年6月に完了しました。令和元年東日本台風と同規模の水位（最高水位9.73m）に耐えられるよう約1.5mのかさ上げにより、計画堤防高（10.79m）が確保されました。



## 河道掘削

国土交通省では、令和元年東日本台風の被害を踏まえ、阿武隈川緊急治水対策プロジェクトを策定し、流域全体における総合的な防災・減災対策を行うことにより浸水被害の軽減や逃げ遅れゼロを目指した治水対策を概ね10年で実施することとしています。

本宮市においては、河底を掘ることで水を流れやすくして河川の水位を下げる工事を行っています。令和2年7月から弁天地区や高木地区側の河道掘削を行い、令和3年10月末に完了しました。



# 安達太良川の治水対策

## 堤防の復旧

福島県では令和元年東日本台風により決壊した堤防の復旧工事を行い、令和元年11月に完了しました。

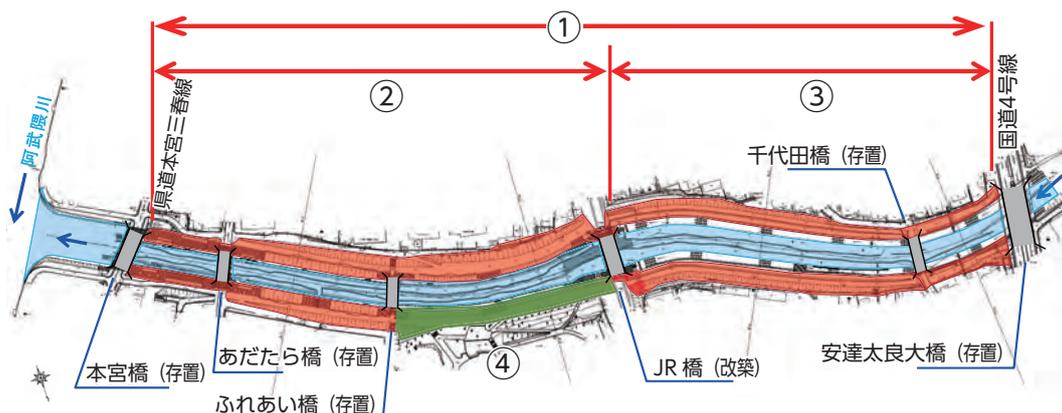


## 堤防のかさ上げ

福島県では安達太良川下流の堤防の改修工事を行っています。

### 【河川改修計画】

- ① 安達太良川の堤防を、阿武隈川本川の計画堤防高までかさ上げ
- ② JR 橋から下流は、計画堤防高で整備
- ③ JR 橋から上流は、JR 橋改築が完了するまでの当面の間、暫定の高さで堤防を整備
- ④ JR 橋下流左岸のみずいる公園隣接区間は、かさ上げ後、現況の芝生環境に復元



# 内水対策

## 戸崎排水ポンプ場の改修

戸崎排水ポンプ場は、国土交通省の「阿武隈川平成の大改修（平成11～12年）」による築堤改修を受けて建設した内水排除施設であり、平成12年度に竣工しました。施設建設に先立ち、1971年から1996年の26年間の降雨（福島地方気象台）の解析を行い、ポンプの口径を決定しました。しかし、東日本台風など近年の雨の降り方が異なってきていることから、対応できる設備の改修を行い、令和3年3月に完成しました。

### 【改修概要】

- 形式：ゲートポンプ（立型）→（横型）
- 排水面積：67.5ha
- 計画雨水量：1.58m<sup>3</sup>/秒→3.00 m<sup>3</sup>/秒
- 仕様：φ600×2台→φ800×2台



## 排水ポンプ車の配備

ゲリラ豪雨による浸水被害が発生した場合の浸水被害拡大の防止・解消を目的とした緊急排水作業を行うため、令和3年7月に排水ポンプ車を1台配備しました。車両には、1分間に約5tの水を排出する能力がある排水ポンプが2台搭載されています。



配備された排水ポンプ車



みずいる公園で行われた排水ポンプ車操作説明会。市役所や南達建設業組合の担当者が、操作方法について学んだ。

### 千代田都市下水路の整備

千代田地区の集中豪雨等による浸水被害の軽減を目的に、大型フリーム（貯留施設）の整備と排水ポンプ設備の設置を行います。整備箇所はJR東北本線線路のガード下となっているため、地区内の水が集まりやすく、東日本台風の際には線路付近まで滞水が見られました。

#### 【整備工事概要】

- 貯留量：100m<sup>3</sup>
- 排水量：10m<sup>3</sup>/秒（φ200×2）
- 機械設備：ポンプ2台



東日本台風時のガード下内部の様子



# 災害に備える

## 防災備蓄倉庫の充実

有事の際の迅速な災害対応のため、本宮市民プール脇に主要サテライト防災備蓄倉庫を、市内5カ所に避難所開設時の初動対応に特化したサテライト防災備蓄倉庫を設置しました。地域防災の拠点である本宮市地域防災センターと従前の防災備蓄倉庫にあわせて、新たに整備したサテライト型の防災備蓄倉庫とを運用し、災害に強いまちづくりを進めていきます。

	施設名	住所
1	本宮市地域防災センター	本宮市本宮字太郎丸地内
2	本宮市防災備蓄倉庫	本宮市青田字前田 地内
3	主要サテライト防災備蓄倉庫（本宮第一中学校）	本宮市本宮字舞台 地内
4	サテライト防災備蓄倉庫（本宮小学校）	本宮市本宮字舘ノ越 地内
5	サテライト防災備蓄倉庫（総合体育館）	本宮市高木字黒作 地内
6	サテライト防災備蓄倉庫（白沢公民館）	本宮市白岩字堤崎 地内
7	サテライト防災備蓄倉庫（本宮まゆみ小学校）	本宮市本宮字舞台 地内
8	サテライト防災備蓄倉庫（本宮第二中学校）	本宮市荒井字団子森 地内



主要サテライト防災備蓄倉庫



市内5カ所にあるサテライト防災備蓄倉庫

## 本宮市災害廃棄物処理計画の策定

災害が起きた際に生じる災害廃棄物は、衛生環境の悪化や、交通等の妨げとなることから、迅速に集積し処理する必要があります。令和元年東日本台風災害においては、仮置場設置や、葛尾村・二本松市東和地区の仮設焼却施設受入協力などにより早期処理に繋がった経験を踏まえ、今後の災害に対する備えとして、県及び市町村間の相互応援体制を強化するとともに、本宮市災害廃棄物処理計画の策定（令和4年度策定予定）を進めます。



相互応援協定書の締結（県及び市・町村・一部事務組合の代表首長）（令和3年6月18日締結）

## マイ避難とプッシュ型情報提供サービス利用の促進

### 【マイ避難シートの活用】

各世帯で災害発生時に迅速に対応できるよう、避難所の確認や親戚・知人宅への避難する際の承諾など事前の避難計画の作成、家庭内での情報共有を促進するため広報紙内にマイ避難シートを掲載。切り離して目立つところに掲示しておくよう周知しました。

### 【プッシュ型情報提供サービス利用の促進】

防災気象情報の収集について、従来の自分で情報を集めに行く「プル型」だけでなく、福島県河川流域総合情報システムによるメール配信やキキクルの通知サービスなどの自動でお知らせを受け取れる「プッシュ型」サービスを紹介し、利用促進を図りました。

**あなたの避難先はどこですか？** 広報紙から切り離し、みんなが見える場所に掲示しましょう！

市では、災害時の避難先をあらかじめ定めています。ハザードマップなどで最寄りの避難先を確認してください。また、避難所に行くことだけが避難ではありません。**安全な場所(親戚・知人宅がある場合は、緊急時の避難先としての受け入れについて日頃から相談しておきましょう。)**

**避難所(避難場所)への避難**  
 ●自宅の水害・土砂災害の危険性が高い。  
 ●避難できる親戚・知人宅がない。 → **市が開設した避難所(避難場所)へ。**

**親戚・知人宅への避難**  
 ●親戚・知人宅の水害・土砂災害の危険性が低い。  
 ●避難できる親戚・知人宅がある。 → **親戚・知人宅に身を寄せる。**

**マイ避難シート** 氏名

ハザードマップで自宅の災害リスク(災害の危険性)を確認してください。  
 ▶自宅の浸水想定( ) ▶土砂災害の危険性(なし・土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域)

	第1候補	第2候補	第3候補
<b>いつ</b> (例: 警戒レベル4で)			
<b>どこに</b> (例: 〇〇公民館)			
<b>どのように</b> (例: 徒歩で)			
<b>だれと</b> (例: 家族〇人)	連絡先( )	連絡先( )	連絡先( )
<b>持ち物</b> 3日分を 持参する	食料など	日用品	防災用品

広報紙から切り離して掲示しておきましょう

マイ避難シートを掲載した広報もとみや令和3年8月号

**防災気象情報は 自動でお知らせ プッシュ型**  
 —プッシュで受け取り、命を守る—

甚大な被害をもたらした令和元年東日本台風から今年で早2年。台風シーズンを迎えている今だからこそ、改めて見直しておきたいのが、防災気象情報の取得方法です。  
 情報の取得方法は、自ら行動して情報を得る**プル(PULL)型**と、情報を自動で知らせてくれる**プッシュ(PUSH)型**の2種類があります。  
 「自らの命は自らが守る」ために、本宮市防災ラジオにあわせて、プッシュ型の情報提供サービスを総合的に活用して、マイ避難に役立てましょう。

**プッシュ(PUSH)型 (自動でお知らせ)**  
 情報が発信されると自動的に知らせてくれる情報取得手段。本宮市防災ラジオや緊急連絡メールなど、さまざまなサービスが提供されています。

**プル型(PULL)型 (自分で取りに行く)**  
 自らが行動を起こして情報を取得する方法。テレビやラジオ、気象庁ホームページなど、電源を入れておいたり、目的のウェブページを開くことで情報を取得します。

**プッシュ(PUSH)型の主な情報提供サービス(無料)**

- 福島県河川流域総合情報システム**  
 メール配信 (福島県)  
 雨量・水位情報、気象情報、土砂災害警戒情報等を電子メールで配信する福島県サービスです。メール受信せたい情報や対象地域を設定しておくことで、受け取りたい情報の水位情報、気象情報を受け取ることができます。
- 「Yahoo! 防災速報」(ヤフー株式会社)**  
 避難情報や緊急地震速報、津波予測、最新予報等の災害情報や今後の予報・予震を緊急のお知らせとして通知するヤフー株式会社サービスです。
- 「キキクル」(危険度分布)の通知サービス**  
 気象庁で公表している、大雨による「土砂災害」(浸水害)「洪水災害」の危険度の浸まりを5段階の色分けで地図上に表示する「危険度分布」(愛称:キキクル)。大雨による危険度の浸まりをアプリやメールなどで知らせてくれる通知サービスを、気象庁の協力のもと、民間事業者5社が提供しています。
- 「NHK ニュース・防災アプリ」(NHK)**  
 ニュース速報や災害時の最新情報のプッシュ通知やマップ上での雨量や台風、河川情報提供を行うNHKのアプリです。
- 本宮市防災ラジオ (本宮市)**  
 市の防災行政無線が繋がる防災ラジオ。設置される部、自動で起動し、自動で停止します。各世帯主に1台設置で配布しています。まだ受け取っていない世帯主の方や新たに転入された世帯主の方などは、市役所1階市民課 防災対策課で、申請手続きをすることができます。  
 国土民部 防災対策課 ☎24-6365

アプリのインストールや事前登録をしよう!

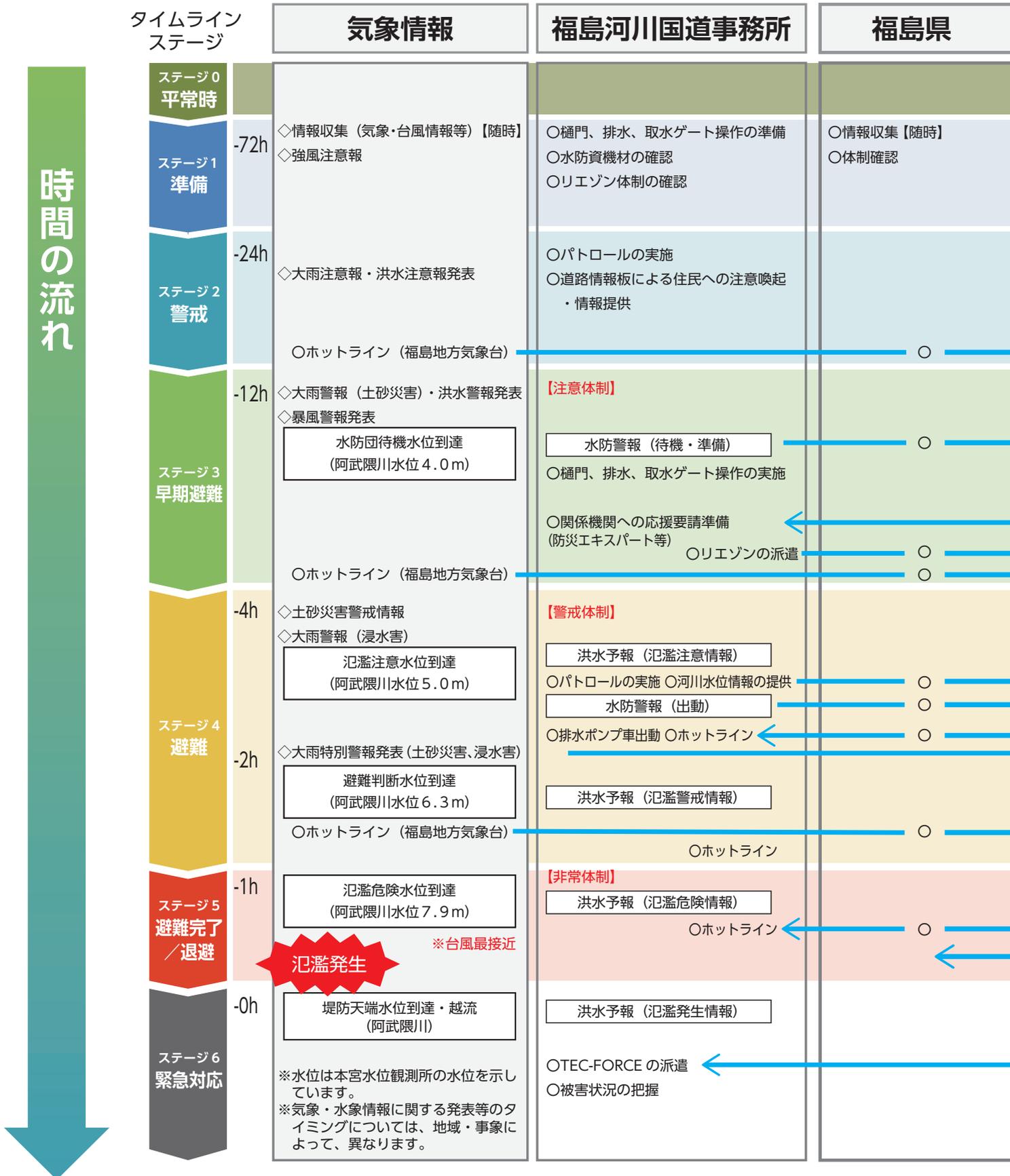
事前登録しよう!

8/10

プッシュ型情報提供サービスを掲載した広報もとみや令和3年10月号

本宮市独自のタイムライン（防災行動計画）の作成

市では、令和元年東日本台風の検証結果をもとに早めの対応を行うことを重点に台風災害に係るタイムラインを作成しました。タイムラインとは、襲来が予測できる台風などの事象に対して、災害の発生前から、市や市民の皆さん、関係機関が実施すべき



対策をあらかじめ時系列で体系化したものです。



### 新型コロナウイルス感染症対策に配慮した避難所の運営

避難所での新型コロナウイルス感染を防ぎ、安全な避難生活を送れるよう、令和2年8月12日に『新型コロナウイルス感染症対策に配慮した避難所設置訓練』を実施。新型コロナウイルス感染症対策を取りながらの避難所設置・運営の手順を確認しました。

#### 【避難所開設のポイント】

- ・できる限り人と人との距離を取る（目安は2メートル）
- ・パーティションやテントの距離も同様に2メートルを目安に確保する
- ・距離の確保が難しい場合は、同じ方向を向く
- ・一般の避難スペースと体調が優れない人の避難スペースを分ける



飛沫感染防止のための間仕切りの設置



避難者の体調確認と受付

#### 【避難所受付のポイント】

- ・密になりにくい場所に、避難所入り口や受付を設置する
- ・筆記用具は、使用の都度、消毒する。または、一人一人異なる筆記用具を用いる
- ・手指消毒、非接触型検温器による検温、問診票の記入・提出、避難スペースへの移動といった流れで受付を行う

#### 【避難所運営のポイント】

- ・避難所は2～3時間ごとに換気を行う（出入口は常に開けておく）
- ・避難者・スタッフともに、定期的に検温や手洗い・うがいを行う
- ・ドアノブ・手すり、蛇口などの共用部分はこまめに消毒する
- ・スタッフが定期的に避難スペースを巡回し、体調が優れない人がいないか確認する



避難者の体調を確認する保健師

# ゼロカーボンシティ宣言



## 未来につなごう『本宮市 2050 ゼロカーボンシティ』

令和3年3月18日、市議会の議決を受け、高松市長が「本宮市 2050 ゼロカーボンシティ」を宣言しました。

近年、世界中で異常気象を起因とする災害などが数多く生じ、深刻さを増しています。市は、令和元年東日本台風災害による大きな被災を経験した自治体として、率先して地球温暖化対策に取り組んでいくことが責務となっています。

今後、2050年までにCO2排出量実質ゼロにすることを目標に、市民の皆さんや市内企業の方々と想いを一つにしなが、一人ひとりが行う小さな取り組みから、皆様と協力し合う大きなチャレンジに至るまでロードマップをたて、脱炭素社会の実現に努めていきます。



廃棄物削減、資源制約、海洋プラスチック問題への貢献のため、「オリジナルマイバッグ」を作成し、市民一人一人が力を合わせて取り組んでいく、マイバッグ運動の啓発を行う。



市や地元企業が現在の取り組みと課題を発表し、今後のゼロカーボンシティ実現に向け議論した「本宮市 2050 ゼロカーボンシティ」パネルディスカッション（令和3年11月5日開催）

# 水に親しむ

東日本台風では街に大きな被害をもたらした阿武隈川ですが、元来、本宮は水とふれあい、共存して生活をしてきた歴史があります。現在、市では、治水対策と一体となった親水のまちづくりに取り組んでいます。

## 中條河畔広場の整備

阿武隈川堤防整備事業により生じた堤防と宅地の間にできるくぼ地（堤防法面）をかさ上げし、堤防天端道路と一体的に利用できる広場を整備しました。「川・まち・人の交流の場」としてイベントなどに活用していきます。



中條河畔広場で行われたゴーカートイベント



堤防約1キロにわたるライトアップ

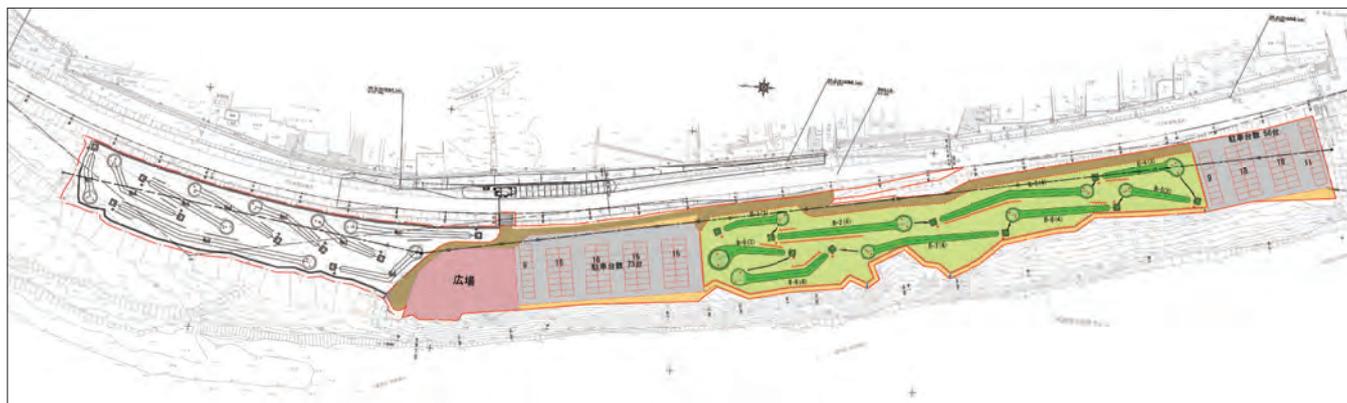
### パークゴルフ場の第2期整備

阿武隈川右岸の高水敷きを利用した親水公園として平成29年6月にオープンしたコミュニティー交流広場(パークゴルフ場)。令和4年完成を目指し、コースや駐車場の拡張を行い、18ホールに改良予定です。

#### 【コミュニティー交流広場パークゴルフ場】

- 住所：本宮市高木字長瀬 60
- 開館時間：午前9時～午後5時(休場日：水曜)
- 利用料金：プレイ料金(1日あたり)

大人200円(75歳以上無料)、高校生以下100円、幼児無料。  
回数券(100円券×12枚)1,000円。用具貸出100円



コミュニティー交流広場パークゴルフ場の拡張工事の図面

---

福島県本宮市  
令和元年東日本台風  
**本宮市災害記録誌**

—— 2022年（令和4年）1月発行 ——

企画・発行  
福島県 本宮市  
印刷  
有限会社 袖山印刷所

---



令和元年東日本台風 本宮市災害記録誌

令和4年1月